

岩国医療センター跡地のまちづくりに関する住民説明会 質疑要旨

■日時 平成30年2月18日(日) 13:30~15:10

■場所 灘供用会館 住民ホール

■出席者 約60人

質疑要旨

福祉・交流のまちづくりに関する意見・要望等

●男性住民

- ・ スポーツ施設としてグラウンドを整備してほしい。

○事務局

- ・ スポーツ施設については、「健康増進自然交流施設」において運動ができる屋外施設を想定しており、計画の内容を具体化していく段階において、住民の方のご意見をお伺いしながら検討していきたい。

●女性住民

- ・ 計画地では、定期的にイベントを開催したり、海の眺めを活かしたレストランや、運動後に飲物や軽食が買えるような売店が必要と思う。
- ・ 多くの市民がイベントや交流の場として訪れる場所にしてもらいたい。

○事務局

- ・ これまでに寄せられた意見の中で、「ここで1日過ごせるような」というキーワードをいただいており、1日過ごすためには飲食が可能な場所の必要性も含まれると考えている。運営面において、難しい面もあるかもしれないが、それらも含めて検討していきたい。

●男性住民

- ・ 医療施設については、医師が不足していると聞いており心配している。
- ・ 障害者を対象とした「福祉工場」のような施設を導入し、知的障害者や精神障害者の方が仕事ができる環境を整備してほしい。

○事務局

- ・ 本市でも医師不足が課題となっている。現状を踏まえ、医師の誘致に向けて関係部局と連携して対策を検討していきたい。
- ・ まちづくり構想の基本理念の中に「生きがい・自立・共生の場づくり」を掲げている。現段階では、具体的な事業等の決定には至っていないが、障害者の方への支援策として、検討を進めていきたい。

●男性住民

- ・ 地域で生産したものを地域で消費することで地域活性化の推進を求める。そのため、計画にあたっては、岩国の野菜、魚など、地元の物を持って行けるシステムを取り入れてほしい。
- ・ 地域の住民が、地域でできた物を買える、食べられるといった要素を取り入れてほしい。

○事務局

- ・ 地産地消、地域活性化のあり方については、ご意見の通りと思う。来年度からの具体的な基本計画を検討するなかで、市民の交流を踏まえ、運用しやすい施設になるように調整を図りたい。

●男性住民

- ・ 岩国市では先進医療を受けることができない。岩国市には空港や新幹線もあるので、先進医療の拠点としての整備を要望する。高齢社会を踏まえ、本当に必要な施設にお金をかけてほしい。

○事務局

- ・ 本まちづくりは、「誰もが支えあう地域支援と交流のまち」を将来像として掲げており、滞在型の施設であれば、特定の方が利益を享受することが見込まれる。そのため、誰もが利用できる通所型や参加型といった施設を目指している。

防災・災害対策に関する意見・要望等

●男性住民

- ・ 灘供用会館が早期避難場所に指定されているが、災害時において、避難することは考えられない。計画地へ出張所・供用会館を移転することについて要望している。また、ここは駐車場が狭いため、移転にあたっては良い機会だと思う。

○事務局

- ・ 灘供用会館も老朽化してきており、バリアフリー化も十分でないことは承知している。
- ・ 本市においては、公共施設等のあり方を検討していく必要もある。公共施設等を新たに整備する場合、施設の維持管理等を次世代へ託すことを踏まえて検討しなければならない。

●男性住民

- ・ 新しく整備される施設は、災害時の避難場所を想定した建築物になるのか。また、備蓄品などを備えた施設になるのか。

○事務局

- ・ 建築物の具体化については来年度以降の基本計画・基本設計のなかで、検討していくことになる。避難場所としての観点を踏まえながら、計画を策定していきたい。
- ・ また、避難場所への指定については、防災部局との調整も必要となり、ご意見等を踏まえて検討・調整していきたい。

●男性住民

- ・ 新しく整備される施設については、灘地区の避難場所として機能することを計画に記載してほしい。

○事務局

- ・ まちづくり構想の段階において、避難場所に関する事項は記載していない。これは、どういった災害を想定するかにも関わってくる。また、どのような建物を整備するかなどの精査が必要である。

●女性住民

- ・ 計画地は、土砂災害ハザードマップで「土砂災害警戒区域」となっている。それに対して、防災部局はどういった見解なのか教えてほしい。

○事務局

- ・ 想定される災害の状況は、ハザードマップ等で周知されているが、防災部局に対しては、施設の構造等を含めて示せていない状況である。どのような施設が整備されるかによって、対応も異なると思われる。

交通条件等に関する意見・要望等

●男性住民

- ・ 中洋小学校にはバスが進入できないため、バスが離合可能な幅員 6 m の幹線街路を J R の線路沿いに整備してほしい。

事務局

- ・ 道路については、ご要望を踏まえ、具体的には来年度以降において検討していきたい。

●男性住民

- ・ 高齢社会を迎えるなか、交通インフラについては特に配慮していただきたい。子育て世代に限らず、高齢者も利用できるよう配慮してほしい。

○事務局

- ・ 「交通インフラ」については、福祉・交流のまちづくりを進めるなかで、子供から高齢者、障害者の方も含め、ここを利用しやすい「交通アクセス」としてハード・ソフト面を含めて検討していく必要があり、今後の課題として認識している。
- ・ 本まちづくりでは、特定の方を対象とした施設を設置するのではなく、誰もが利用でき、誰もがここで 1 日過ごせるという事を重要なキーワードとして検討している。

●男性住民

- ・ 岩国南バイパスの南伸がいつ実現するか分からないが、計画地の整備を先行して行うのであれば、それまでの間の車の出入り、周辺の渋滞対策はどのように考えているのか。

○事務局

- ・ 岩国南バイパスについては、現在、国土交通省の方で調査・検討を重ねられている。
- ・ 国道 188 号を含めて計画地への何らかのアクセスは必要と考えており、車だけではなく交通弱者に対するバス等の公共交通についても、まちづくりの計画に併せて検討していきたい。

●男性住民

- ・ 計画地入口の踏切は、以前から立体橋の設置の要望も出ている。これが実現しなければ、これからの交流施設全体が活かされないと思う。
- ・ 中洋小学校までの道路については、具体的に計画を進めていくのか。

○事務局

- ・ 計画地入口の安全性を高めるための 1 つの施策として、「立体交差」は有効な手段であろうと考えている。来年度からの、基本計画の策定の中で、ルート案について検討していきたい。
- ・ 中洋小学校からの、具体的な接続については、今後、道路部局とも調整しながら、「施設配置イメージ図」にてお示しした「幹線街路」を意識した設置について検討していきたい。

●男性住民

- ・ 幹線街路は、いつも常時利用することができるのか。踏切があるため、南側からの交通が増えるのか。

○事務局

- ・ 公道として検討しており、規格にも配慮した道路にしていきたいと考えている。
- ・ 踏切対策については、ルートを含めて検討したいと考えているが、基本的には、今以上にこの踏切に負荷をかけるという考えは持っていない。

市民合意形成に関する意見・要望等

●男性住民

- ・ 今後、施設を検討する事前の段階で、このような住民説明会を開催するのか。

○事務局

- ・ 今後の住民説明会については、来年度からの基本計画・基本設計を進める段階において、市民の皆様のご意見をお伺いしながら進めていきたい。

●男性住民

- ・ 整備スケジュール案に、基本計画・基本設計を2年間で実施する予定となっているが、同様の説明会を予定しているのか。

○事務局

- ・ まちづくりを進めるにあたっては、地域住民の方々、市民の方々のご意見が必要不可欠と考えている。今後も適切な形でご説明させていただきたい。

●男性住民

- ・ 次回の住民説明会は、いつ頃を予定しているのか。

○事務局

- ・ 今後の基本計画・基本設計を進めていくなかで、タイミングを計りながらご意見を伺い、計画を積み上げていきたいと考えており、現段階で具体的な時期については、お示しできない。

その他の意見・要望等

●男性住民

- ・ 現在、計画地では、ダンプ車両が土砂を搬入しており、埃等が飛んできたり、国道188号から出入りすれば道路も混雑すると思う。今後において道路を拡張するなどの計画があるのか。

○事務局

- ・ 現在、土砂の搬入でご迷惑をおかけしている。計画区域内の交通インフラの道路等の施設計画については、来年度から基本計画・基本設計を行うなかで、段階的に詳しい内容を検討していくこととなる。また、土砂の搬入については、極力ご迷惑がかからないよう散水などに努めたい。

●男性住民

- ・ 供用開始時にどの程度の方が施設を利用される想定なのか。

○事務局

- ・ これから具体的な施設の検討を行うため、現段階では利用者の見込みについての想定は困難である。

以上

